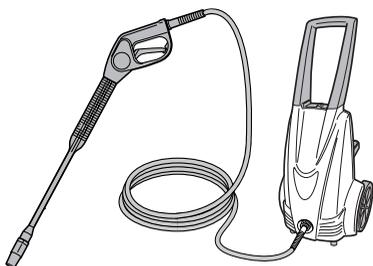


取扱説明書

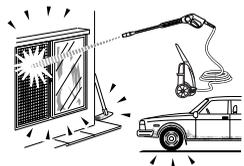
日立高圧洗浄機

このたびは日立家庭用高圧洗浄機をお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



用 途

- 網戸、窓ガラス、床面、外壁などの洗浄
- 自動車、オートバイの洗浄
- 園芸用具、農耕具などの泥落とし



電動工具の安全上のご注意	1
高圧洗浄機の使用上のご注意	5
各部のなまえ	7

はじめに

ご使用前の準備	8
ご使用前の点検	10

準備

各部の取付け	11
洗浄する	13
付属品の使いかた	14
ストレーナホースセット(別売部品)の 使いかた	17
作業を終えたら	18

使いかた

点検・お手入れする	19
故障かな…というときは	20
別売部品の紹介	21
仕様	21
アフターサービスについて	22

その他

警告、 注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」、「 注意」、「 注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ 感電に注意してください。
 - 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ 子供を近づけないでください。
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

警告

- ⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
- ⑥ 無理して使用しないでください。
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
 - 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
- ⑨ 保護メガネを使用してください。
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。切削したものと粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑩ 防音保護具を着用してください。
 - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
 - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。

警告

- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口に依頼してください。
 - 延長(継ぎ)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ **不意な始動は避けてください。**
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ **屋外使用に合った延長(継ぎ)コードを使用してください。**
- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長(継ぎ)コードを使用してください。
- ⑲ **油断しないで十分注意して作業を行ってください。**
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。

警告

②0 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口にご相談ください。
- スイッチが故障した場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口にご相談ください。
- スイッチで始動および停止操作ができなくなった電動工具は、使用しないでください。

②1 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

②2 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

高圧洗浄機の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、高圧洗浄機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - 表示を超える電圧で使用すると、運転速度が異常に高速となり、けがの原因になります。
- ② 必ずアース(接地)してください。
 - 感電の恐れがあります。
- ③ 使用中は、トリガガンを確実に保持してください。
 - 確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ④ 使用中、噴射口を人や動物、壊れやすいものに向けしないでください。
 - 高圧水が噴射し、けがの原因になります。
- ⑤ 可燃性液体や、有害液体、その他不適當な液体を使用しないでください。
 - 事故または故障の原因になります。
- ⑥ 車のタイヤまわりを洗浄するときには、ノズル先端から最低 50cm 以上離して洗浄してください。
 - 接近しすぎた場合、タイヤやブレーキを損傷させ、重大事故の原因となる場合があります。
- ⑦ 機体、コード、コンセントなどに水がかからないようにしてください。
 - 感電の恐れがあります。
- ⑧ 高圧ホースをよく点検してください。
 - 破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。
- ⑨ 濡れた手でプラグ、コンセントに触れないでください。
 - 感電の恐れがあります。
- ⑩ トリガガンを握った状態に固定しないでください。
- ⑪ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、点検・修理をお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口に依頼してください。
 - そのまま使用していると、けがの原因になります。

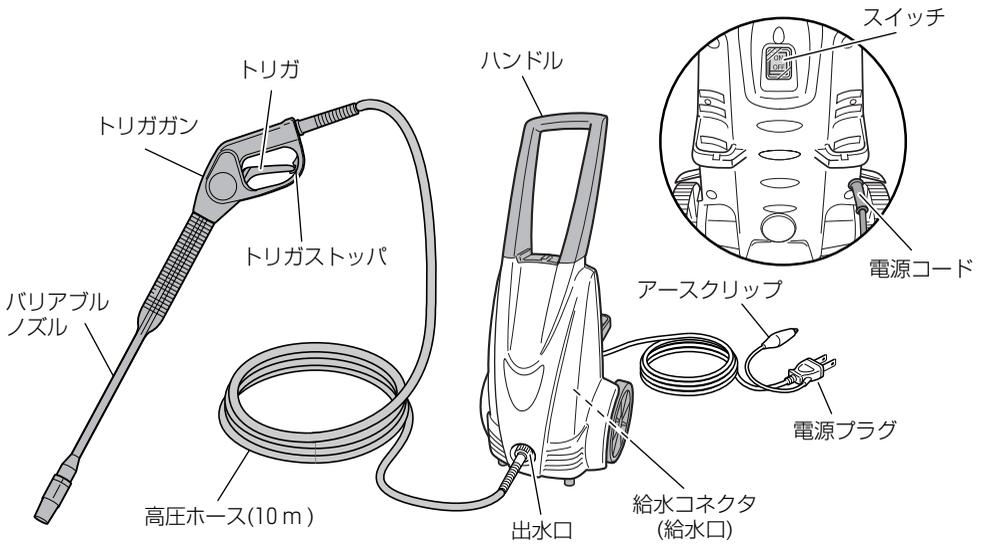
警告

- ⑫ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑬ 高圧ホースを抜く前に、機体内部の圧力を全て抜いてください。
 - けがの原因になります。

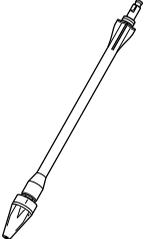
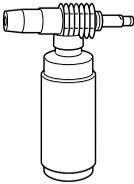
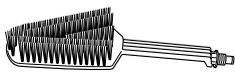
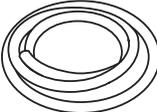
注意

- ① 高圧ホース、水道ホースは、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - 確実にないと、はずれたりして、けがの原因になります。
- ② 洗浄物に異物の付着などが無いことを確認してください。
 - 高圧水流により飛ばされ、思わぬけがの原因になります。
- ③ 洗浄物のラベル類周辺へは、直接噴射をしないでください。
 - 高圧水流により、ラベル類がはがれる原因になります。
- ④ 機体を持ち運ぶときは、ハンドルをしっかり持って運んでください。
- ⑤ 自吸機能により溜水等を利用する場合は、必ず別売部品のストレーナーホースセットを使用してください。

各部のなまえ



付属品

ターボノズル	洗剤ボトルノズル	ワンタッチジョイント	ホースフック
		ノズルクリーナーピン	
洗剤ブラシ	水道ホース (3 m)	ホースバンド	D4 ねじ (ハンドル取付け用)
			

ご使用前の準備

警告

- 電源プラグの先端のアースクリップ、アース線は、念のため異常のないことを確認してから使用してください。地中に接地極（アース板、アース棒）を埋めるなどの接地工事は、電気工事士の免許が必要ですので電気工事店にご相談ください。なお、接地線をガス管に取付けることは事故の原因になるので、絶対にしないでください。

洗浄作業をするときは、まわりを整頓してからお使いください。

●漏電しゃ断器を設置する

万一の感電防止のため、漏電しゃ断器を設置してください。

この機体が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置（以下、漏電しゃ断器と言います。）が設置されているか、確認してください。

また、この機体は必ず接地（アース）を行ってください。定格感度電流 15 ミリアンペア（mA）以下、動作時間 0.1 秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器が設置されている電源でお使いになる場合でも、より安全のために接地されるようにおすすめします。

騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。

ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

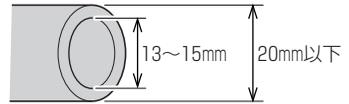
●機体を設置する

平らな場所で、洗浄作業中に機体に水がかからない場所を選びます。

●市販の水道ホースを使う場合

本製品には 3 m の水道ホースが付属されています。
長さが短い場合には、市販の水道ホースを準備してください。

水道の蛇口から、機体の設置場所までの距離に応じた長さの市販の水道ホース（耐圧タイプ（メッシュ入り）、内径 13 mm～15 mm、外径 20 mm まで（肉厚 2.3 mm 以上、3.0 mm 未満））をご用意ください。
付属のホースバンドを使用するなど蛇口の形状に合った接続方法で、しっかりと蛇口と水道ホースを接続します。



注 水道ホースは、ホースリールに巻かれた状態で使用しないでください。
水道水の水量が足りなく、水が出にくくなる場合があります。

●延長（継ぎ）コードを使う場合

⚠ 警告

- 延長（継ぎ）コードは損傷のないものを用意してください。
- 必ずアース（接地）用の 1 心を持つ 3 心キャブタイヤケーブルを使用してください。
- 万一の感電防止のため、漏電しゃ断器を設置してください。

電流が流れるのに十分な太さで、できるだけ短いコードをお使いください。
右表はコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さ (mm ²)	最大の長さ (m)
2	20

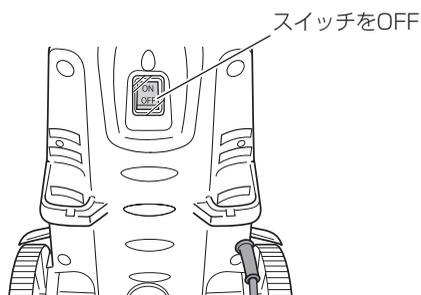
ご使用前の点検

⚠ 警告

• 電源プラグをコンセントにさし込む前に、次のことを確認してください。

1 スイッチが「OFF」になっていることを確認する

スイッチを「ON」にしたまま、電源プラグをコンセントにさし込むと、コンセントをさし込んだ途端にモーターが起動し、思わぬけがの原因になります。



2 100 Vの電源を使用する

お求めの高圧洗浄機は、100 V用です。200 V電源、直流電源に接続すると、製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

3 コンセントを確認する

コンセントがぐらついたり、電源プラグが抜けやすかったり、アース（接地）端子が不完全だと修理が必要です。お近くの電気工事店にご相談ください。そのまま使用すると、過熱して事故の原因になります。

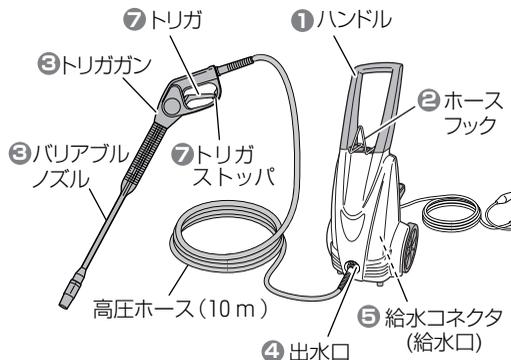


各部の取付け

次の手順ですべての部品を正しく取付けて、安全に洗浄を行ってください。

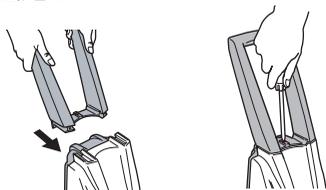
⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを「OFF」に合わせ、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ノズルの噴射口を人や動物に向けないでください。
高圧水が噴射し、けがの原因になります。
- 使用中に異常音や異常振動など、機体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを「OFF」にして、点検・修理に出してください。



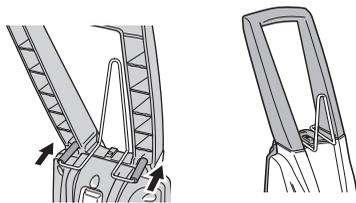
1 ハンドルを機体に取付ける

機体の凹部にハンドルの凸部を合わせて矢印の方向にさし込み、ねじ穴が合うように取付けた後、付属のD 4 ねじで固定します。



2 付属のホースフックをハンドルに取付ける

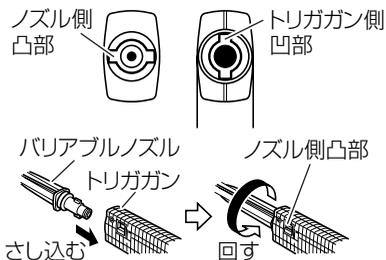
ハンドルの凹部にホースフックのゴム部を合わせて矢印の方向に押し込み取付けます。



3 付属のノズルをトリガガンに取付ける

洗浄作業に応じたノズルを選んで取付けます。
〔P 14 「バリアブルノズルの使いかた」
「ターボノズルの使いかた」参照〕

ノズル側の凸部とトリガガン側の凹部を合わせてさし込みます。次に 90° 回します。

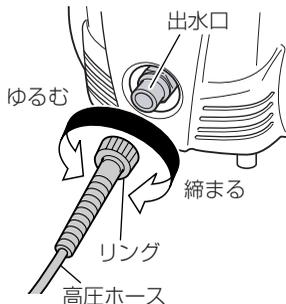


- 注**・お買い上げ時には出水口、給水口にキャップが取付けてありますので、キャップをはずしてからホースを取付けてください。
 ・キャップは作業後使用しますので大切に保管してください。

4 高圧ホースを機体の出水口に取付ける

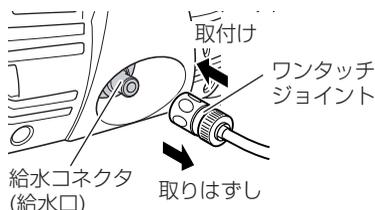
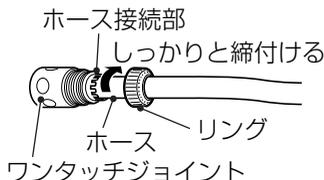
機体の出水口に高圧ホースをさし込み、高圧ホースのリングを回して固定します。

- 注** 確実に接続されていないと、水が漏れて、十分な圧力が得られません。



5 付属の水道ホースにワンタッチジョイントを取付け、給水コネクタにさし込む

「カチッ」と音がするところまで、さし込んでください。
 (P 9「市販の水道ホースを使う場合」参照)



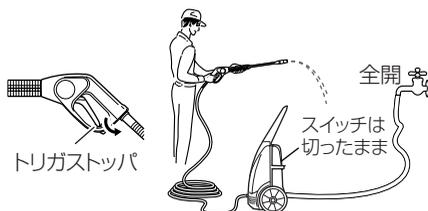
6 水道の蛇口と水道ホースを接続する

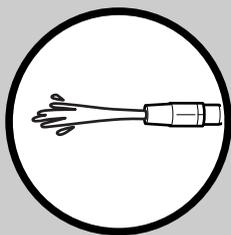
水道ホースの端にホースバンドを通し、水道の蛇口にさし込みます。水漏れがないようにホースバンドのねじを十分に締付けます。



7 水道の蛇口を全開にする

全開した後、接続部に水漏れがないことを確認します。
 つぎに、この状態でトリガストッププをはずし、トリガガンのトリガを引くと、水道の水圧だけで少量の水がノズルから放水されます。この状態でも水漏れがないことを確認します。





洗浄する

水圧を利用して、さまざまな洗浄ができます。

警告

- ノズルの噴射口を人や動物に向けないでください。
高圧水が噴射し、けがの原因になります。
- トリガを引いたままスイッチを「ON」にしないでください。
急に高圧水が噴射して、思わぬ事故の原因になります。

注意

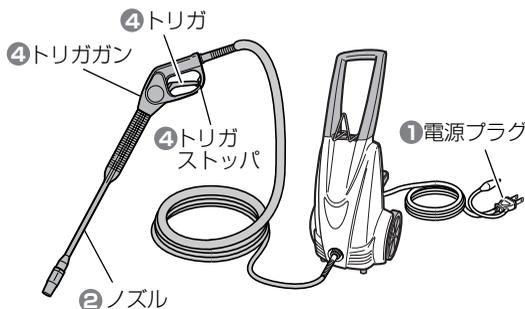
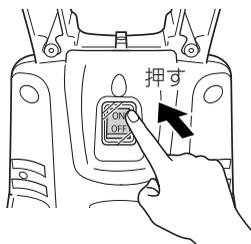
- 運転を一時中断するときは、必ず機体のスイッチを「OFF」にしてください。
「ON」にしたまま放置すると、ポンプに圧力がかかった状態となり、故障の原因になります。

1 電源プラグをコンセントにさし込む

2 ノズルの先端を安全な方向に向ける

3 スイッチを「ON」にする

「ON」にすると、モーターが起動します。
機体内部の水圧が十分になると自動的にモーターが停止します。



注 この高圧洗浄機からは、最大水道水圧の20倍程度の高圧水が噴射されます。洗浄するものによっては、高圧水により傷がついたり、塗装をはがしたりすることもあります。作業の始めは、洗浄するものから2～3m程度離れたところから行ない、洗浄するものの状態と汚れ落ちの具合を確認しながら、汚れ落ちが十分でないときには徐々に洗浄するものに近づいていくようにしてください。

4

トリガガンを両手でしっかりと持ち、ノズルの先端を洗浄するものに向けて、トリガを引く

トリガガンのトリガを放すとモーターが停止する圧力スイッチが内蔵されています。再度トリガを引くと、モーターが再起動します。



付属品の使いかた

⚠ 警告

部品取付けの際は、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを「OFF」に合わせ、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

下記に従って確実に取付けてください。取付けが確実でない場合には、外れたりして、けがの原因になります。

● バリアブルノズルの使いかた

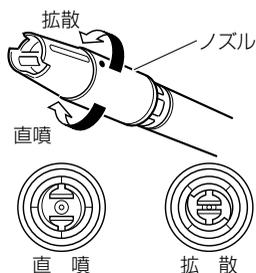
バリアブルノズルは先端を右に回すと「直噴」、左に回すと「拡散」に切り換わります。

・直噴洗浄

水流が直線状に噴射されます。汚れのひどい農機具の泥落としなどに適しています。

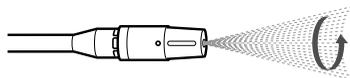
・拡散洗浄

水流が扇状に広がって噴射されます。外壁、バイク、車の洗浄に適しています。



● ターボノズルの使いかた

ターボノズルは、高圧の直噴水流が回転し、効率良く洗浄できます。



使いかた

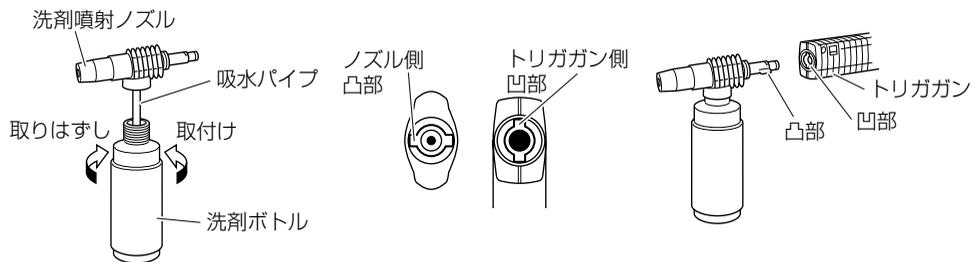
●洗剤ボトルノズルの使いかた・取付けかた

洗剤の混じった水流を噴射し洗浄します。

洗剤は市販の中性洗剤を適した濃度に水で薄めて使用してください。

[取付けかた]

トリガガンとの取付けかたは 11 ページの手順③と同じです。



[取りはずしかた]

取りはずしは、取付けと逆の手順で行ってください。

●洗淨ブラシの使いかた・取付けかた

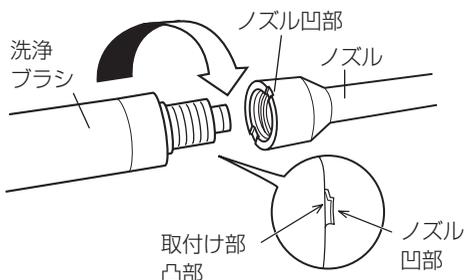
水を出しながらブラシ洗淨を行います。

[取付けかた]

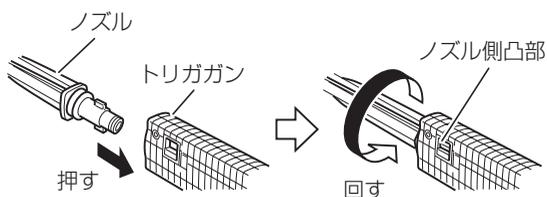
1. 高圧洗淨機のノズルの先端部をまわして取りはずします。



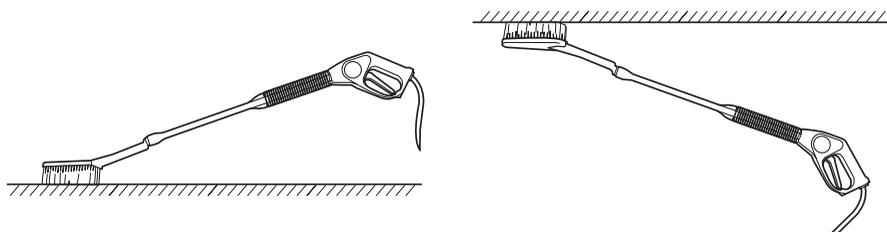
2. 洗淨ブラシをまわしながらノズルの先端に取付けます。
洗淨ブラシ取付け部の凸部とノズル凹部が合うまで十分にねじ込んでください。



3. 洗淨ブラシのついたノズルをトリガガンに取付けます。



注 ノズルを取付ける方向によってブラシ面の方向が決まります。洗淨作業に適した方向に取付けてください。



[取りはずしかた]

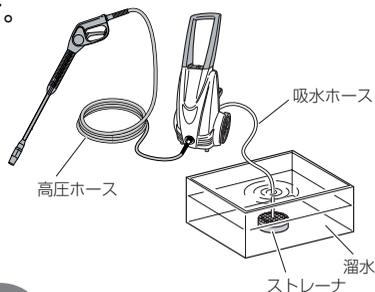
取りはずしは、取付けと逆の手順で行ってください。

ストレーナホースセット(別売部品)の使いかた

本機体は別売部品のストレーナホースセットを接続することで、自吸機能により水槽等から溜水を吸上げて使用することができます。

⚠ 警告

部品取付けの際は、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを「OFF」に合わせ、電源プラグをコンセントから抜いてください。



1 機体内部に水を入れる

給水口と水道の蛇口に水道ホースを接続し、機体内部に水を入れておきます。(12ページの⑤⑥⑦参照)
つぎに、水道ホース、高圧ホースを機体からはずします。

注 • 機体の移動時には、出水口、給水口に付属のキャップを付けてください。水が漏れ、衣服が濡れる恐れがあります。

2 ストレーナホースセットを取付ける

吸水ホースに呼び水(吸水ホース内に水を入れる)をした後、ワンタッチジョイントを機体の給水コネクタにさし込み(12ページの手順⑤参照)、ストレーナを溜水の入った容器に浸します。

注 • 呼び水をすると短時間で溜水をポンプに吸上げることができます。
• 吸水できる高さは約1mまでですが、できるだけ機体を溜水と同じ高さに置いてください。
• 川や池の水(砂等混じった泥水)は使用しないでください。故障の原因になります。

3 スイッチをONにする

電源プラグをコンセントにさし込み、スイッチを「ON」にします。

注 • 必ず高圧ホースを取付けない状態でスイッチを「ON」にしてください。湯水運転となり故障の原因になります。
• 出水口の前に人がいないことを確認してから、スイッチを「ON」にしてください。衣服が濡れる恐れがあります。

4 出水口から水が出ることを確認し、高圧ホースを取付ける

十分に水が出ることを確認した後、スイッチを「OFF」にします。
つぎに、ノズルをトリガガンに取付け、高圧ホースを出水口に取付けます。(11、12ページの手順③④参照)

5 洗浄する

スイッチを「ON」にし、トリガガンのトリガを引いて洗浄作業を行います。(13、14ページの手順②～④参照)

作業を終えたら

洗浄作業を終えたら、機体内部の水を抜いて、風通しの良い場所に保管し、十分に乾燥させてください。

冬期は機体内部、ホース内の水が凍結する場合がありますので、十分に水気をとった上で、室内保管してください。

1 水道の蛇口を閉める

6 水道ホースをはずす

水道ホース内に残った水がこぼれることがあります。

2 機体の水抜きをする

トリガガンのトリガを引き、機体内部の水を抜きます。
水の噴射がなくなるまで（1分以内）行なってください。

7 高圧ホースをはずす

高圧ホース内に残った水を抜き取ります。

3 トリガストッパをロックする



8 機体の水抜きをする

機体を横倒しにして、内部に残った水を抜き取ります。

4 機体のスイッチを切る

9 乾いた布で水気をふき取る

5 電源プラグをコンセントから抜く

10 保管しておいたキャップを出水口、給水口に取付ける

点検・お手入れする

⚠ 警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグをコンセントから抜いてください。

●機体、各種ホースの点検

- 破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

●機体はきれいに

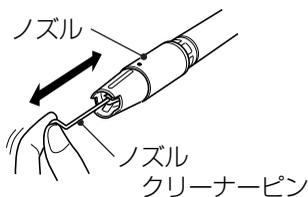
- 石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類は変形の原因になるので使用しないでください。

●取付けねじの点検

- 時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。
そのまま使用すると危険です。

●ノズルの点検

- 付属のノズルクリーナーピンで定期的にノズル穴の掃除を行ってください。



注 保管場所について 次の場所には保管しないでください。

- お子様の手が届いたり、持ち出せる所。
- 直射日光の当たる所。
- 軒先など雨がかったり、湿気のある所。

故障かな…というときは

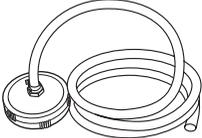
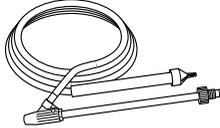
次の内容を点検してください。それでも直らない場合はお買い求めになった販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

症 状	考えられる原因	処 置
トリガを引いても モーターが動かない。	・電源プラグがコンセントに さし込まれていない。	・電源プラグをコンセントに差し てください。
	・スイッチが切れている。	・スイッチを入れてください。
トリガを戻しても モーターが止まらない。	・水道水の水量・圧力が 低い。	・水道の蛇口を全開にしてください。 ・水道ホースの種類、内径が適当 か確認してください。 ・水道ホースをホースリールに巻 いた状態で使用していないか確 認してください。
水がでない。	・水道ホースがつながって いない。	・水道ホースをつないでください。
	・水道の蛇口が閉じている。	・水道の蛇口を全開にしてくだ さい。
	・ノズルにごみがつまっ ている。	・ノズルの先端を付属のノズルクリ ーナピンで掃除してください。
水圧があがらない。	・電源、スイッチが入って いない。	・電源コードの接続、スイッチの 状態を確認してください。
	・水道水の水量・圧力が低い。	・水道の蛇口を全開にしてください。 ・水道ホースの種類、内径が適当 か確認してください。 ・水道ホースをホースリールに巻 いた状態で使用していないか確 認してください。
	・ノズルにごみがついて いる。	・ノズルの先端を付属のノズルクリ ーナピンで掃除してください。
	・電源電圧が低い。	・延長（継ぎ）コードの太さ、長 さが適当か確認してください。
水漏れがする。	・各種ホースの接続不良。	・各種ホースの接続部を確認して ください。 ・蛇口と接続部には付属のホース バンドを用意し、しっかり接続 してください。

別売部品の紹介

日立電動工具販売店で求めください。

(別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

<p>ストレーナホースセット 自吸機能により、近くに水道がなくても水槽などから溜水を吸上げて使用することができます。</p> 	<p>回転ブラシ 水圧により、中央のブラシが回転し、窓や広い面積のブラシ洗浄を行ないます。</p> 
<p>アングルノズル 車の下まわりや雨どいなど手の届きにくい所の洗浄に。</p> 	<p>サンドブラストキット (保護メガネ付属) 高圧水流に微細な珪(けい)砂を混入させ、水だけでは落ちないさびやペンキ、壁の落書き落としなどを行ないます。 ※使用する珪(けい)砂(5号)は付属していませんので、市販品を別途ご用意ください。</p> 
<p>パイプクリーニングキット ホース先端から水を逆噴射、パイプの中を進み洗浄します。</p> 	<p>床洗浄アタッチメント 水を飛び散らせずに、床面を高圧洗浄します。</p> 

仕 様

形 名	FAW80SB
使用電源	単相交流50/60Hz 共用100V
最大吐出圧力	8.0MPa (81.6kgf/cm ²)
最大吐出水量	6L/min
許容水温	40℃以下
全負荷電流	13.5A
消費電力	1300W
給水方式	水道 + 自吸 ※(最大吸上げ高さ約1m)
モーター	単相直巻整流子モーター
機体寸法	奥行290×幅300×高さ710mm
質量	6.5kg (機体のみ)
コード	アースクリップ付き3心キャブタイヤケーブル5m

※溜水等を使用して吸水を行なう場合には、別売部品のストレーナホースセットが必要です。

アフターサービスについて

安全に能率よくご使用いただくために、定期的に点検に出されることをおすすめします。正常に作動しないときは、ご自分で修理をなさらず、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にご依頼ください。

また、アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

相談と修理の窓口一覧表

(家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示)

高圧洗浄機についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店へどうぞ。

この商品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店が承るようになっております。転居されたり、贈物でいただいた場合などでお困りの場合は、お近くの相談と修理の窓口にご相談ください。

なお、相談と修理の窓口の所在地、電話番号など、変わる場合もありますので、その節は「電動工具お客様相談センター」をご利用ください。新しい所在地、電話番号をご案内いたします。

お買物相談、販売店のご紹介、総合的なご相談と修理についてのお問い合わせは…〔相談と修理の窓口〕へ

お住まいの地域	窓口の所在地	支店(部)名	電話番号
全 国	港 区	営業本部	(03) 5783 - 0626
北海道	札 幌 市	北 海 道	(011) 271 - 4751
青森、岩手、宮城、秋田、 山形、福島	仙 台 市	東 北	(022) 288 - 8676
茨城、栃木、群馬、埼玉、東京、 千葉、神奈川、山梨、新潟、 長野、静岡県富士川以東	台 東 区	関 東	(03) 5812 - 6331
岐阜、愛知、三重、 静岡県富士川以西	名 古 屋 市	中 部	(052) 262 - 3811
富山、石川、福井	金 沢 市	北 陸	(076) 263 - 4311
滋賀、京都、大阪、兵庫、 奈良、和歌山	西 宮 市	関 西	(0798) 37 - 2665
鳥取、島根、広島、岡山、山口	広 島 市	中 国	(082) 504 - 8282
徳島、香川、愛媛、高知	高 松 市	四 国	(087) 863 - 6761
福岡、佐賀、長崎、熊本、 大分、宮崎、鹿児島、沖縄	福 岡 市	九 州	(092) 621 - 5772

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (No.) などを下欄にメモしておかれますと、サービスを依頼されるときに便利です。

お買い上げ日

年

月

日

販売店名



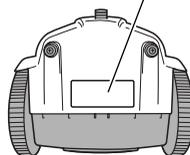
()

—

製造番号 (No.)

--	--	--	--	--	--	--	--

銘板
(製造番号が表示されています)



「電動工具お客様相談センター」



0120 - 208822 (フリーダイヤル・無料)

※携帯電話からはご利用になれません。

(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)

電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南 2-15-1 (品川インターシティ A 棟)

国内営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

905

部品コード C99156802 〇